# ゲートスタック中への AI 導入による Ge p-MOSFET の正孔移動度向上

Hole mobility enhancement in Ge p-MOSFET due to introduction of Al into gate stack

# 九大・大学院総合理工学府<sup>1</sup>,九大・産学連携センター<sup>2</sup>,

<sup>°</sup>永冨 雄太<sup>1</sup>, 田中 慎太郎<sup>1</sup>, 建山 知輝<sup>1</sup>, 山本 圭介<sup>2</sup>, 王 冬<sup>1</sup>, 中島 寛<sup>2</sup>

I-Eggs, Kyushu Univ.<sup>1</sup>, KASTEC, Kyushu Univ.<sup>2</sup>, <sup>o</sup>Yuta Nagatomi<sup>1</sup>, Shintaro Tanaka<sup>1</sup>,

### Tomoki Tateyama<sup>1</sup>, Keisuke Yamamoto<sup>2</sup>, Dong Wang<sup>1</sup>, Hiroshi Nakashima<sup>2</sup>

#### E-mail: 3ES14011E@s.kyushu-u.ac.jp

## 1. <u>はじめ</u>に

近年,極薄のEOTを有する Ge MOSFET の報告が多くなされている[1]. このような低 EOT 領 域の MOSFET の性能向上には、S/D の寄生抵抗( $R_p$ )の低減と絶縁膜/Ge 界面の高品質化が不可欠 である. 我々グループは、PtGe を S/D 領域に用いることで小さな  $R_p$ を実現している[2]. また、 絶縁膜/Ge 界面の高品質化については、Al 堆積後熱処理(Al-PMA)効果を報告している[3]. この 効果を使えば、界面欠陥が低減して p-MOSFET の正孔移動度が向上する. しかし、その移動度 向上の機構については未だ解明されていない. 今回、我々はその機構について、PMA 温度と界 面準位密度( $D_{ii}$ )との関係、PMA による界面の構造変化、および PMA 温度と p-MOSFET のチャ ネル移動度との関係、を詳細に調査したのでその結果を報告する.

2. 試料作製

**一**(1) (10) 基板の抵抗率はそれぞれ 0.38 および 0.29 Ωcm である. Ge 基板を 化学洗浄後, bilayer passivation(BLP)法によって 0.5 nm-SiO<sub>2</sub>/1 nm-GeO<sub>2</sub> の界面層を形成した. BLP 法は, 350°C での SiO<sub>2</sub> スパッタ堆積中に酸素ガスを添加することで, SiO<sub>2</sub>/Ge 間に GeO<sub>2</sub> を成長 させる物理気相堆積法で,高品質な界面特性が得られる[3]. 続いて同一真空中において室温で 5 nm-SiO<sub>2</sub>を堆積し, 400°C-30 min の熱処理を施した. その後, 100 nm-Al を真空蒸着し, 300~400°C の範囲の温度で 30 min の金属堆積後熱処理(PMA)を行い,電極を加工して MOS キャパシタ(CAP) を作製した. 比較として PMA 無し試料も作製した. このゲートスタックと PtGe-S/D を用いて p-MOSFET を作製した.

# 3. <u>電気特性</u>

作製した全 MOSCAP において典型的な *C-V* 特性が得られた.これらの特性から算出したフラットバンド電圧( $V_{fb}$ )およびヒステリシス(HT)と PMA 温度との関係を Fig. 1 に示す. PMA 温度の 増加に伴い,  $V_{fb}$  が正方向ヘシフトし, HT が低減している.これは,文献[3]の結果と一致して おり,PMA 温度の増加に伴い絶縁膜中の負の固定電荷が増えたこと,および界面欠陥が低減し たことを示唆している.一定温度 DLTS[4]から得られた  $D_{it}$ のエネルギー分布を Fig. 2 に示す. PMA を施すことでギャップ下半分のエネルギー範囲で  $D_{it}$ が低減している.しかし,PMA 温度 の違いによる  $D_{it}$ の差はほとんど見られない.界面近傍の構造変化を調査するために,TOF-SIMS 分析を行った(Fig. 3). Al-PMA を施した試料では、SiO<sub>2</sub>中に Al が観測されること,GeO<sub>2</sub>の信号 強度が減少していること,が分かった.更に,XPSの調査から,Al-PMA処理によりGeO<sub>2</sub>はAlGeO<sub>X</sub> に変化していることが分かった.これらの結果から,PMA によって Al 原子が SiO<sub>2</sub> 中を拡散し て界面まで到達すると,Al が GeO<sub>2</sub>中に取り込まれことが明確化した.それに伴い,負の固定電 荷が増加し,界面欠陥が終端されると考えられる.以上の Al-PMA 効果の機構をベースにして, p-MOSFET の正孔移動度向上の機構を本講演で議論する.

参考文献: [1] R. Zhang et al., APL. **98** (2011) 112902. [2] Y.Nagatomi et al., JJAP. **54** (2015) 070306. [3] K. Hirayama et al., JJAP. **50** (2011) 04DA10. [4] D. Wang et al., JAP. 112 (2012) 083707.



Fig. 1  $V_{\rm fb}$  and HT plots as a function of PMA temperature.





SiO,

- Ge

10

w/o Al-PMA

- Al

GeO.

Fig. 2  $D_{\rm it}$  energy distributions of the fabricated Ge MOSCAPs.

Fig. 3 TOF-SIMS analysis of the samples with and without PMA.

350°C Al-PMA

15 20